資料１

第６回宇都宮市東部地域渋滞対策協議会

（栃木県宇都宮市東部地域における新たな基幹交通の導入に伴う道路交通マネジメント）

栃木県 TOCHIGI PREFECTURAL GOVERNMENT

令和６（２０２４）年３月１日

社会実験の背景

令和5年度実験計画書より

1.1.2.　実験地域で発生している事象

朝夕の通勤時間を中心に鬼怒通りや並行路線である市道白楊高通り、国道 123 号の 3 路線、更にはこれら 3 路線を連結する新 4 号国道、国道 4 号等において従来から慢性的に渋滞が発生している。

こうした中で、鬼怒通りにおいては既存道路内において新たな基幹交通（LRT）の導入・運行が予定されており、路面電車の基盤が全く無い地域において LRT を含めた交通ルールへと変更となることから、従道路を含めた信号現示サイクルが複雑化し、自動車の速度低下等による渋滞の発生など一定程度の混乱が生ずることが懸念される。

図１　位置図（栃木県宇都宮市）

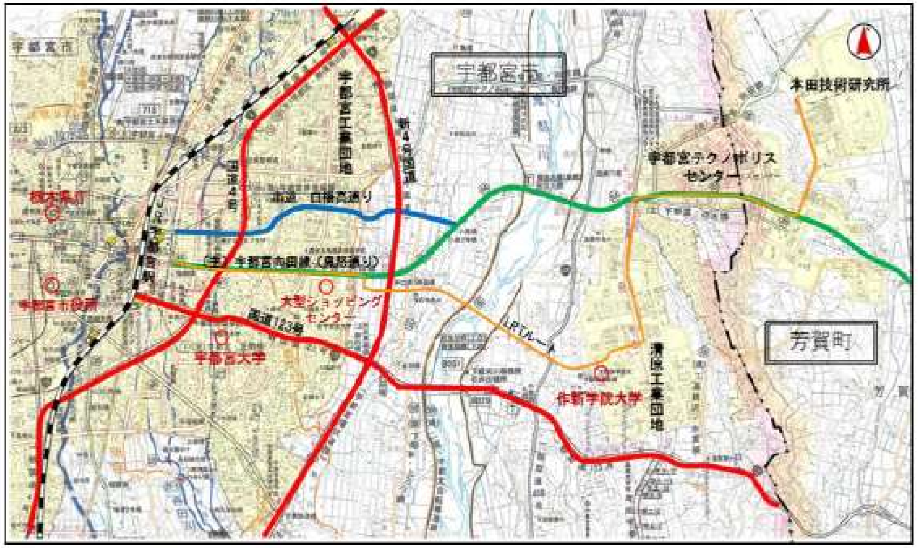

図２　位置図（宇都宮市東部地域）

社会実験の目的

令和5年度実験計画書より

1.2.　実験の目的

1.2.1.　実験地域が目標とする状態

地域の主軸である広域幹線道路内に新たな交通モード（LRT）の運行が開始し、信号現示等新たな交通ルールが導入される中で、信号現示調整や目的地までの経路変更、更にはパーク＆ライドによる交通手段等を道路利用者に提案し、道路交通の円滑化と公共交通の利用促進を図る。

社会実験の概要

栃木県 TOCHIGI PREFECTURAL GOVERNMENT

社会実験メニュー

得られたデータ

実験の目標

宇都宮東部地域における道路交通の円滑化と公共交通の利用促進

解決すべき事象

道路の渋滞緩和

公共交通の利用促進

課題解決に向けた取組

自動車交通量の変化
道路交通の挙動

把握・分析

CCTVを活用したAI画像解析

新たな道路環境への懸念
・自動車交通流の変化
・交通ルールの変更に伴う交差点付近での挙動の変化

今後の課題整理

プローブデータを用いた旅行速度等の交通状況データ取得

平準化の効果確認

LED表示板を用いた自動車交通量の平準化

LED表示板へプローブデータ活用

ETC2.0との比較

精度比較

ETC2.0及びプローブデータを用いた旅行速度等の交通状況データ取得

自動車交通から公共交通へ転換

新たな公共交通を活用した道路交通の円滑化
・P&Rの利用促進
・経路変更などの移動手段の選択肢の提案

現況把握

LRT利用状況・運行状況
P&R利用状況

新たな基幹交通（LRT）の導入